

## 民生生活

7月7日から7月9日まで、福岡県宗像市、古賀市、山口県山口市小規模多機能型居宅介護施設を視察しました。視察項目として、「コミュニティづくり、在宅ネットワーク等について調査しました。

宗像市では、住民主体のまちづくりが進められており、少子高齢化などにより、自治会単位での活動が困難になってきたため、小学校区単位で



小規模多機能型居宅介護施設「には死」にて

の地域コミュニティの再構築が行われています。その内容

## 常任委員会行政視察報告

### 建設水道

7月6日から7月8日まで、長野県佐久市、小布施町、須坂市の2市1町を視察しました。視察項目として、地産地消の推進、農産物の地域ブランド化、食育の取り組み等について調査しました。

佐久市では、農・商・工連携地産地消推進プランの「安全・安心まるごと食べよう！佐久ブランド」のキャッチフレーズのもと、農、商、工業、消費者、教育関係者が連携して地産地消を推進し、米粉の利用促進やブランド開発のために米粉製粉機を導入するなど地域活性化に取り組んでい



須坂市議会にて

ました。小布施町では、農産物の生産（1次産業）から加工（2次産業）・販売（3次産業）までを担う総合産業（6次産業）の創出を目指した小布施

は、①権限や財源を地域コミュニティに移譲した。②各自治会等に交付していた補助金を統合して、使途を限定しない交付金として地域コミュニティに交付するようにした。その結果として、住民自らがまちづくりに取り組むようになり、子供を中心とした地域コミュニティがうまく機能するようになったということでした。

また、古賀市では、高齢者が自分の医療情報を事前に登

町振興公社の6次産業センターの施設見学を行い、農産物加工と販売について積極的に取り組んでいる様子がかうか

がえました。須坂市では「食と農の基本計画」のなかで、地産地消、産地ブランドの創出、グリーンツーリズムの推進、農業の

担い手の創出と育成等、多様な具体的施策を市の農業・農村のあるべき目標像として設定し、積極的に農業振興に取り組んでいました。今回教えて頂いたことを少しでも施策に反映出来るよう委員会として取り組みたいと思います。

## 総務文教

7月1日から3日まで、愛知県豊明市、静岡県富士市、伊豆市の3市を視察しました。視察項目として、業務改善運動、観光プロジェクト事業、ふるさと雇用再生及び緊急雇用創出事業等について調査しました。

豊明市の業務改善運動「グッツジョブショー」とは、民間のQCサークルの行政版で、全庁的な意識改革を担っているものです。各所属単位と新人職員の間断チームが毎年改善テーマを検討・表明して、活動経過はパソコンに「見える化」し、事例発表も行います。ポトムアップが制度化され、継続しているからこそ行政の自己変革につながっています。

富士市「まちの駅」は、ちよつと休んだり、トイレを借りたり、道を探ねたりできる個人の店舗や事務所などを言います。観光プロジェクトとして、現在54店主が登録し、

録しておいて、緊急時にいつでも病院にかかれる在宅医療ネットワークシステムを構築していました。病院、訪問看護ステーション、居宅支援事

業所、救急隊等が登録した医療情報を共有し、急変時・看取り時の緊急入院まで対応しています。大変参考になる視察研修となりました。

伊豆市では、ツアー・オブ・ジャパン（自転車レース）を誘致しています。伊豆をサイクルスポーツ、サイクルレジャーのメッカに合言葉に、日本で唯一の日本サイクルスポーツセンターや日本競輪学校、各種自転車競技団体、観光関連団体と協力し、市外・県外からの誘客増加を目指しています。

どれも今後の赤穂市の行政に役立つ調査となりました。



伊豆市議会にて